

【板橋キャンパス **心理カウンセリング学科**】後期 見学可能授業一覧（2026年11月9日（月）～11月21日（土））

- ・授業の見学は高校生および受験生のみ参加となります。保護者の方は教室内に入れません。
- ・複数の授業を自由に見学できます（途中入退場自由）。移動時は授業の妨げにならないよう静かにご移動をお願いいたします。
- ・○限と○限の連続授業もありますが、連続して授業を受けていただく必要はありません。

時限/曜日	月	火	水	木	金	土
1限 (9:00-10:40)						
2限 (10:55-12:35)		122・社会・集団・家族心理学 123・看護技術Ⅱ				
3限 (13:25-15:05)		124・看護技術Ⅱ 125・ポジティブ心理学				
4限 (15:20-17:00)	126・発達心理学	127・グループアプローチ実習Ⅱ				

学科名	授業番号	日程	時限	授業名	教員	授業の概要	備考
心理カウンセリング学科	122	11/10（火） 11/17（火）	2限（10:55-12:35） ※10:40集合	社会・集団・家族心理学	石井 国雄	本科目は、社会・集団・家族心理学の代表的理論について概観し、社会・集団・家族心理学の考え方やその内容について学ぶ科目です。そのことを通して、他者や集団とのかかわりの中で、人々がどのように考え、行動するかを考える力をつけることを目標としていきます。また、授業においては心理学実験・調査の体験があり、それらを通して、社会心理学の知見がどのように生成されるかの理解を深めます。	定員：10名
	123	11/10（火） 11/17（火）		看護技術Ⅱ ※3限との連続授業	久保 正子	養護教諭に求められる看護実践力を主体的に捉え、看護行為に共通する援助技術の基礎理論と、科学的根拠に基づいた実施方法を習得します。 学校現場では、子どもの多様な健康ニーズに対し、個別および集団の両側面からのアプローチが求められます。本授業では、日常的な感染予防や環境整備から、傷病発生時のアセスメント、緊急度の判断を伴うファーストエイドまで、学校で想定される様々な場面を扱います。演習、討議、協同学習を通じ、「なぜそのケアが必要なのか」という根拠を深く理解し、子ども一人ひとりの健康と安全を保持・増進するための的確かつ安全・安楽な看護技術の実践力を養います。	
	124	11/10（火） 11/17（火）	3限（13:25-15:05） ※13:10集合	看護技術Ⅱ ※2限との連続授業	久保 正子	養護教諭に求められる看護実践力を主体的に捉え、看護行為に共通する援助技術の基礎理論と、科学的根拠に基づいた実施方法を習得します。 学校現場では、子どもの多様な健康ニーズに対し、個別および集団の両側面からのアプローチが求められます。本授業では、日常的な感染予防や環境整備から、傷病発生時のアセスメント、緊急度の判断を伴うファーストエイドまで、学校で想定される様々な場面を扱います。演習、討議、協同学習を通じ、「なぜそのケアが必要なのか」という根拠を深く理解し、子ども一人ひとりの健康と安全を保持・増進するための的確かつ安全・安楽な看護技術の実践力を養います。	定員：10名
	125	11/10（火） 11/17（火）		ポジティブ心理学	亀山 晶子	養護教諭に求められる看護実践力を主体的に捉え、看護行為に共通する援助技術の基礎理論と、科学的根拠に基づいた実施方法を習得します。 学校現場では、子どもの多様な健康ニーズに対し、個別および集団の両側面からのアプローチが求められます。本授業では、日常的な感染予防や環境整備から、傷病発生時のアセスメント、緊急度の判断を伴うファーストエイドまで、学校で想定される様々な場面を扱います。演習、討議、協同学習を通じ、「なぜそのケアが必要なのか」という根拠を深く理解し、子ども一人ひとりの健康と安全を保持・増進するための的確かつ安全・安楽な看護技術の実践力を養います。	
	126	11/ 9（月） 11/16（月）	4限（15:20-17:00） ※15:05集合	発達心理学	温泉 美雪	この授業では人が生涯において直面する発達課題と、それをどのように解決していくかについて学びます。また、発達課題を乗り越える方法として、地域において一般的に広く行えるものと、個性の高いものについても理解を深めます。	
	127	11/10（火） 11/17（火）		グループアプローチ実習Ⅱ	杉山 雅宏 温泉 美雪 亀山 晶子	カウンセリングは、一対一で行なわれる個人へのアプローチと集団独自の特性・機能を用いるグループアプローチがあります。最近のカウンセリングではグループアプローチが注目され研究実践されています。これらは、文字や言葉では学び得ない側面が多く、自分が実際に体験しながら学習することが最も効果的です。 本講義では、実際にファシリテーターとしての役割を担い、自己開示や対人関係の改善、コミュニケーション能力の促進学習を深めます。また、授業準備、まとめなどの対応も実践的に行います。	